



特別  
手4  
6357

昭慶門院の御座風押色紙は和歌あれを富士と  
 繪くは坐以古一建永の以宿勝四天正寔乃  
 漸降子ほも此山を描くはくまに東福寺の  
 虎関和尚扇面水底富士の五條の結あれが五明  
 に宮も亦久し雲舟の一幅は唐人の撰も有るその  
 名山とせしむるは妙之といふもいづれも一山一景  
 多々補景の云保つ因縁の浦今も奇しくも所也



以傳大雅者法百篇士と近年よりありて五翁の富  
 嶽る柔の晴雨と趣を愛造をふれを異子に不之の  
 画此ふ考ぬとわりのなれいも身一と風韻高く感さる  
 而己よく素人の覽へ届らう一と洒落と過遠與あれ  
 とも理屈志の何となくえ世百圓の効聲ら〜く  
 侶する光景もあはせよとまとする交眺望の真と逼り  
 且生取捨する自由やゆれが對しと目成悦び〜光

臨むば規撫とあはよ是り習いば君錫子法の真よ〜  
 地而更のち州の籠ありけり〜と一と子のを好し〜  
 固〜と四夜解な〜とが聖人の所謂中庸のあり  
 天下乃大本あれども大ち中於よとれとよも客を  
 らば是も一の利徳あ〜と需は應〜と暢とさる〜  
 己未秋集  
 柳〜仙果



不二山号之  
起原

竹取物語

葛飾の正翁先は富嶽百景と題して一本成致すところあり  
 例の草丈もそと多本鳥獸器賦のそとひ或は人物都鄙の  
 風俗筆力をもろし繪紐の抄もいふも成りてと  
 不二の更何しらひといふも多し此圖のまとい異は  
 こすがまのあつりに眺望をいれ成りて  
 たる竹編を清書せしつこ小冊紙中もせられたる  
 極密の一字かゝり略せしむるも亦多しけしと圓を  
 全く寫生の風景も遠足後もまゝ人そと一時の  
 異なりゆゑのそと草れ抄りていふし繪

立齋徳

大森  
本牧





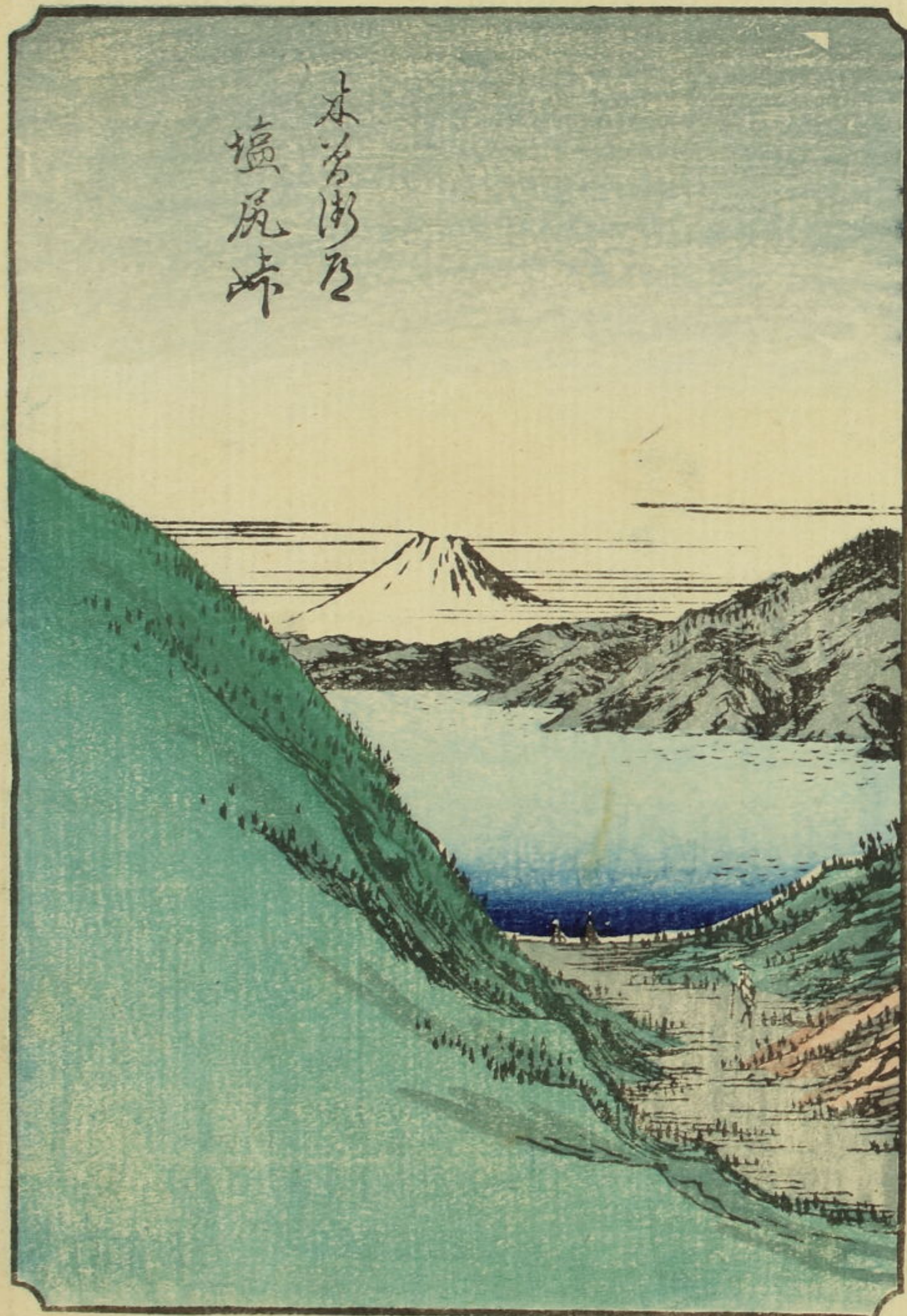


東海道  
大森繩子

三

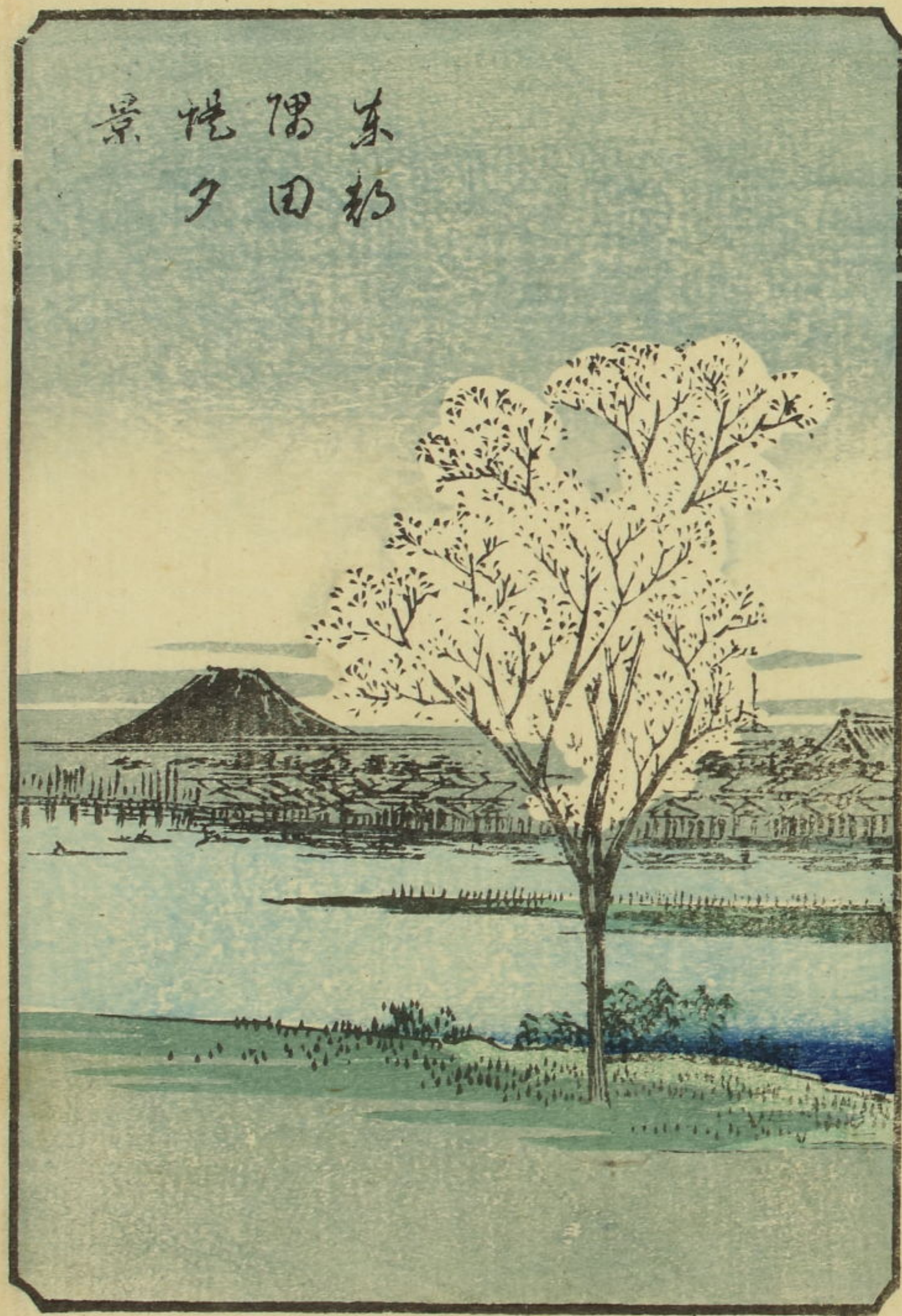








東陽偶景  
初田夕景









甲斐  
大目峠

十



甲斐  
大月の原



十



東海道  
箱根湖水



十二





相州三浦  
秋登の里

下總  
藤塚  
桃園



十  
四





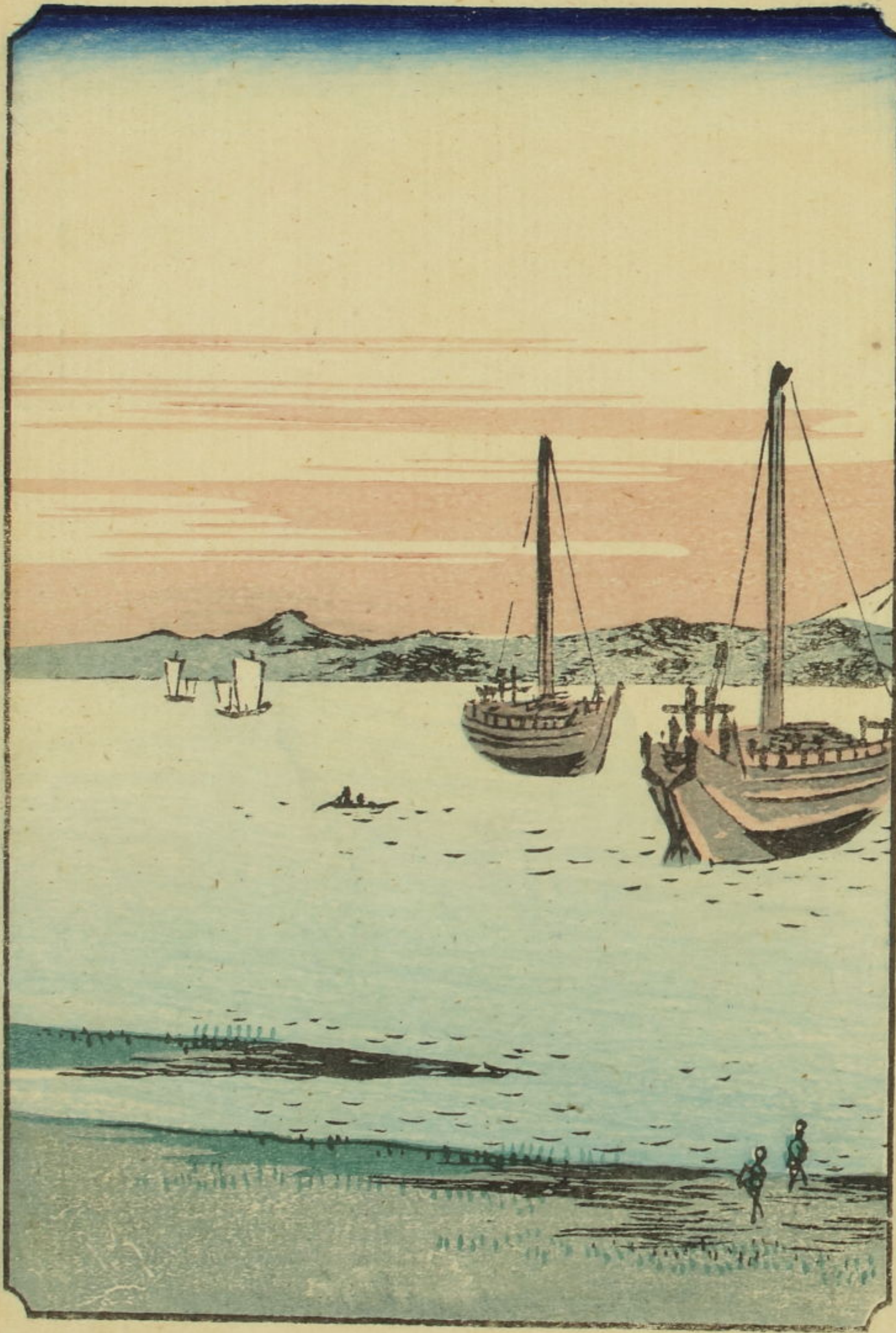
下 堀 猫  
網 江 實





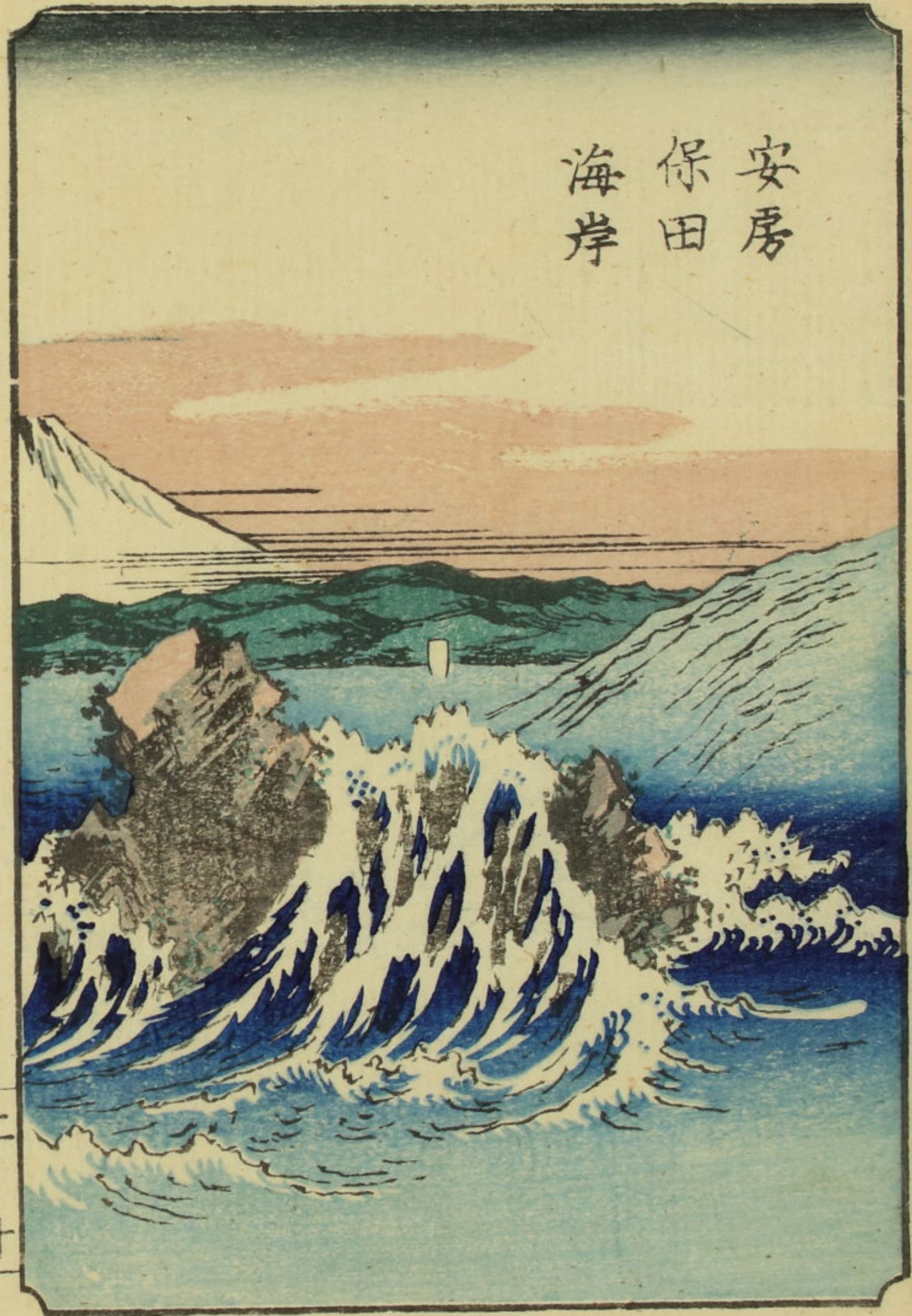


十  
八



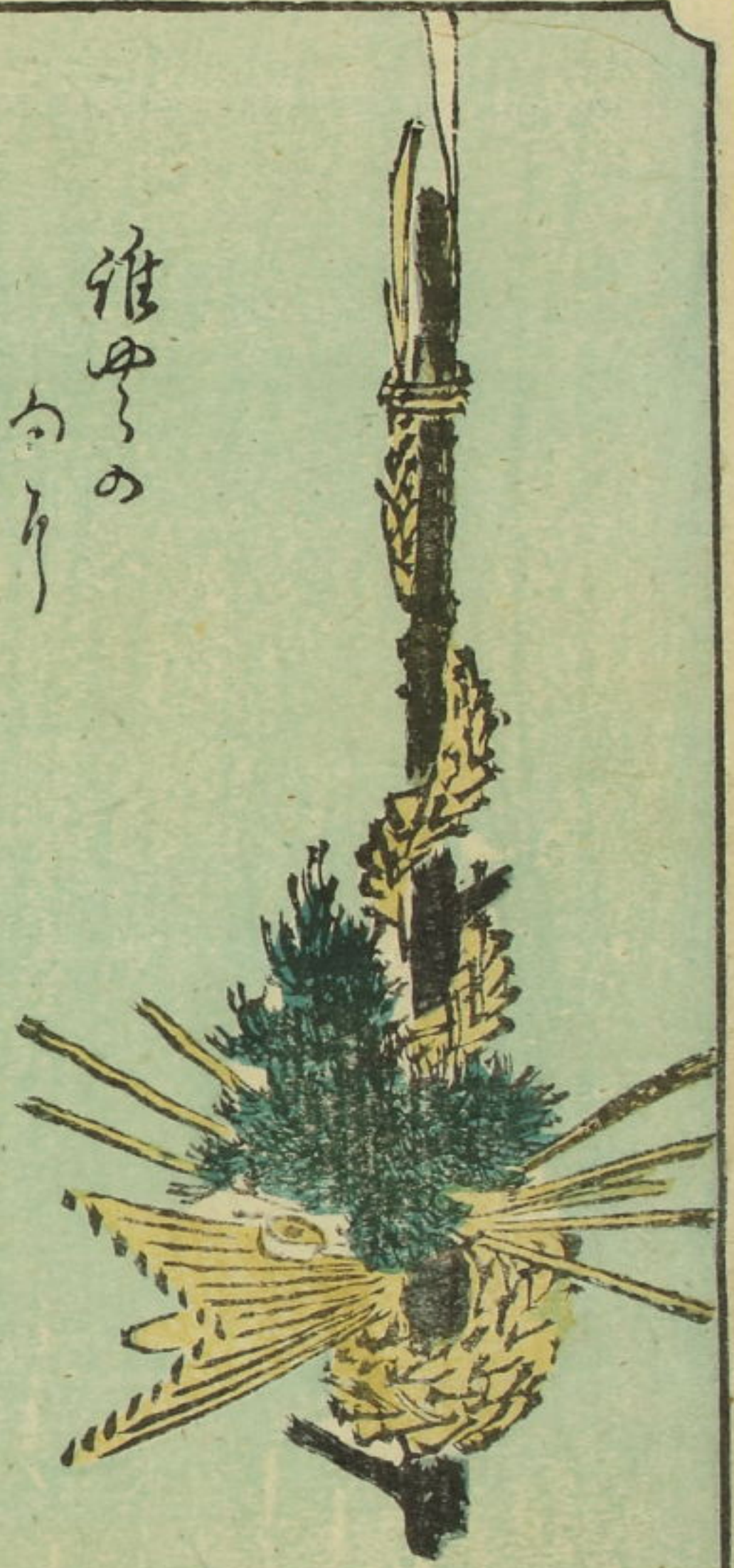


安房  
保田  
海岸



二  
十





維也の

向り

日比の

日暮の

山

三魚

佛  
を  
寺

